

ようこそ、東館5階 回復期リハビリテーション 病棟へ



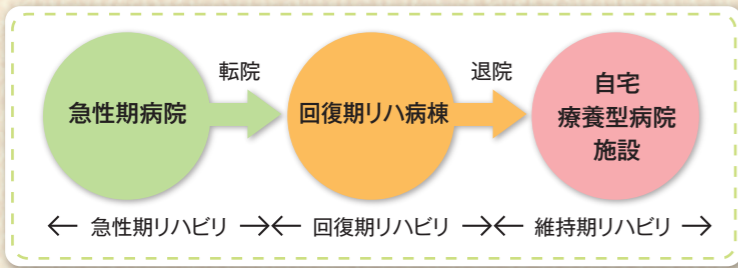
リハビリテーション科 部長
高島 由紀 医師

2016年10月より、回リハ病棟が千鳥橋病院に戻ってきました。



回復期リハ病棟の役割

回復期リハビリテーション病棟(以下、回リハ病棟と略します)とは、急性期治療は終わったけどADLが低下した患者さんが、できるだけ早く自宅に帰り社会復帰できるよう、強力なチーム(医師、看護師、介護士、リハスタッフ、社会福祉士、栄養士、薬剤師等)医療でお手伝いする病棟です。具体的には、365日リハビリサービスを提供、リハビリ室だけでなく病棟でもADL向上の取り組みをおこなっていく病棟です。



PT(理学療法士)

身体機能回復
寝たきりにならないよう
手足の筋肉強化や
可動域を広げる訓練



OT(作業療法士)

日常生活動作訓練
トイレ、更衣、食事など
日常生活動作の
トレーニング



ST(言語聴覚士)

会話食事訓練
会話や食事など、
口や喉を使う日常動作を
くり返し練習

自宅復帰後の環境に合わせたリハビリ

退院後にご自宅を訪問し、家屋調査を行います。間取りや空間環境を知ること、必要な福祉用具を検討したり、スムーズなリハビリ計画を立てていきます。



更なる向上にむけて

回リハ病棟は今まで、下記の5つの項目を柱として医療活動を継続してきました。

- **ADL向上** ———— 特に嚥下・排泄面に力を入れてきました
- **再発予防・転倒予防** ———— リハビリと同じ位再発予防が大事
- **廃用症候群の予防** ———— 退院後の生活の活性化も見据えて
- **社会復帰への取り組み** ———— 退院先環境で役に立つリハを追求
- **職員の知識・技術の向上** ———— 研修会への積極的参加と伝達講習

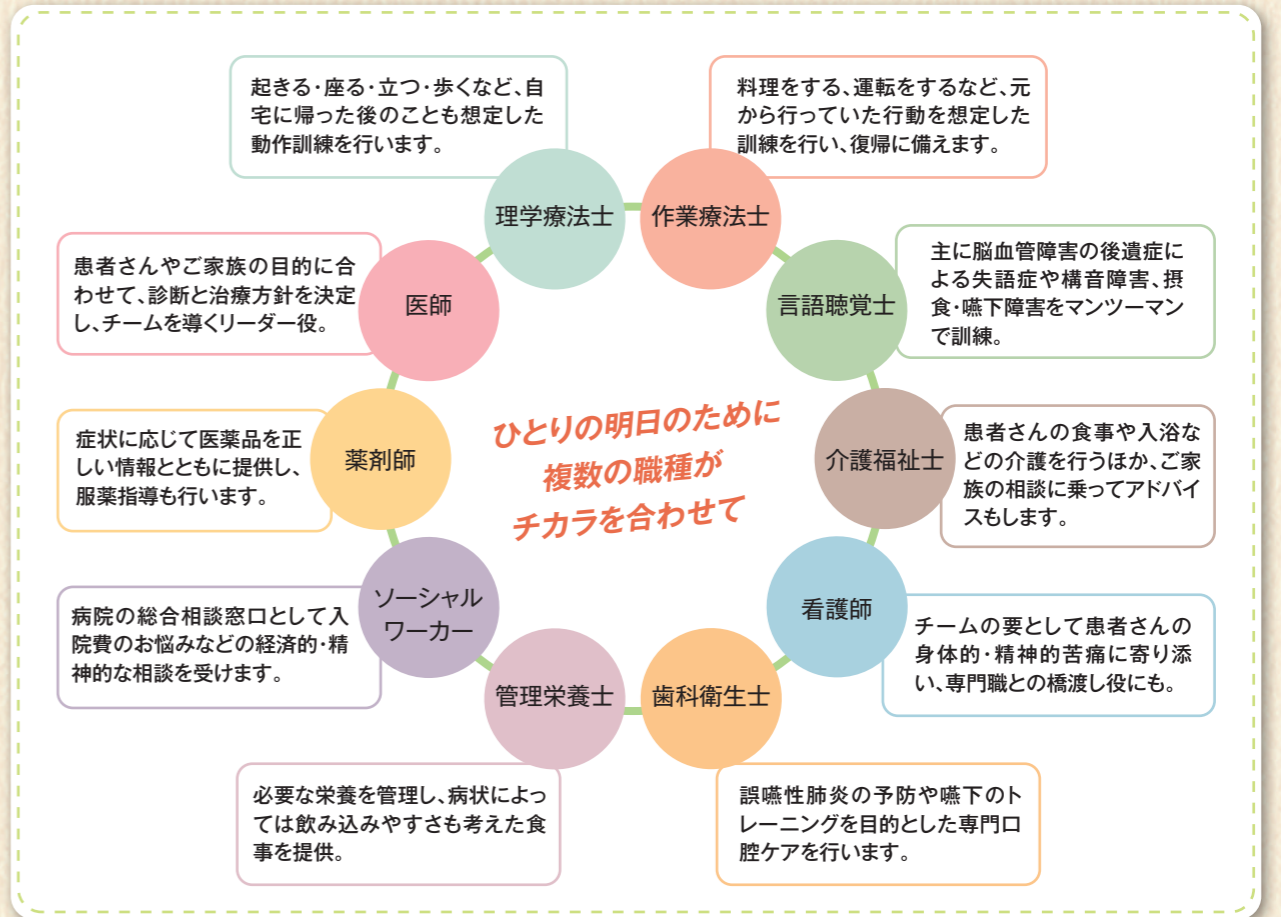
今後はそれに加えて、千鳥橋病院内にある事の強みを生かして、今まで以上に患者さんの社会復帰のお役に立てる病棟を作り上げていく所存です。

千鳥橋病院内にある事の強み

多くの診療科のサポートによる医学的管理や急性期病院としての検査・治療環境も整っているため急変にも対応できます。

チーム体制

社会復帰をかなえるため、医師やリハビリストaffを中心に多くの職種が連携し、情報を共有して全力を尽くしていきます。



新たに出発した千鳥橋病院の回復期リハビリテーション病棟(東5病棟・54床)を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



詳しくは、回復期リハビリテーション病棟の案内パンフをご覧ください